

対日理解促進交流プログラム

(Japan's Friendship Ties programs)

【令和5年度予算案:638百万円の内数】

【令和4年度補正予算:844百万円の内数】

目的

- 諸外国・地域の優秀な青年を対象に、日本に対する関心と理解を向上させ、また、プログラム経験をいかした活動をしてもらうことで、親日派・知日派を発掘・育成し、我が国の外交基盤を拡充する。
- 参加者の専門性、関心分野に沿って、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に係る対日理解を促進し、参加者からの対外発信の強化を図る。

概要

【地域別名称（対象地域）】 JENESYS2023（アジア大洋州）
カケハシ・プロジェクト（北米）
MIRAI（欧州）
Juntos!!（中南米）

【事業】 (1) 招へい・派遣 (2) オンライン交流 (3) フォローアップ

【対象者】 招へい：高校生～社会人等、派遣：高校生～大学院生

【期間】 招へい・派遣：10日間程度（オンライン・オフラインによるハイブリッド形態）

【規模】 約14.8億円、約2,330人

事業の実施形態

日本政府（事業方針に沿って推進）
（拠出金支出）

国際機関等（事業の実施団体を選定・委託）
（拠出金管理）

実施団体等
（プログラムの企画・実施）

施策名:映像コンテンツ海外展開事業

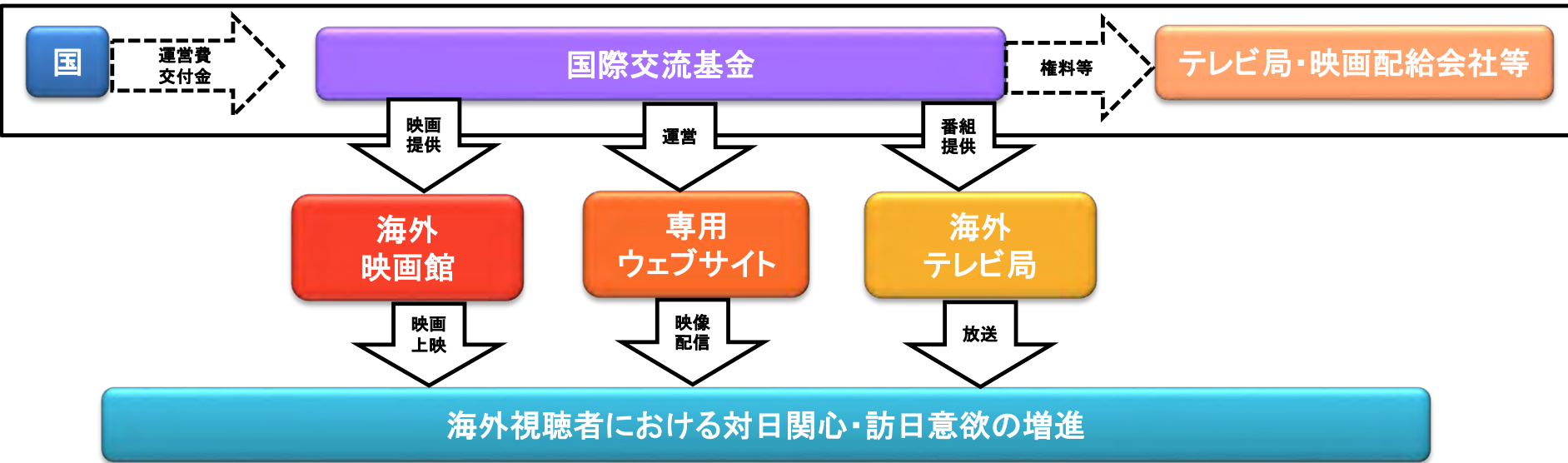
① 施策の目的

外交上の重要性が高まっており、かつ訪日観光客や外国人材が期待される国・地域(ASEAN諸国等)に対して、映像コンテンツを一般層向けに展開することで対日理解や親日感・訪日意欲を促進し、インバウンド需要を高め国内の経済成長の足掛かりとする。

② 施策の概要

日本各地や日本文化の魅力を伝えるアニメ、映画、ドラマなど、日本の映像コンテンツをオンライン上のプラットフォームで配信するほか、テレビ放送やリアルな場での映画祭を補完的かつ有機的に組み合わせることで、海外で幅広い層に日本の多様な魅力を広く発信する。

③ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



④ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

水際対策の大幅な緩和や円安等を追い風に、外交上の重要性が高まっており、かつ訪日が期待される国・地域(ASEAN諸国等)に対して映像コンテンツ事業を通じ日本文化への理解促進、対日関心を喚起することは、インバウンド需要の回復・拡大に寄与し、地域における円安を活かしたコロナ禍からの需要回復、労働人材の来日増加を通じた地域活性化に繋がる。